



1. 事業概要

「おもてなし環境向上プロジェクト」では、企業の皆様から御支援をいただき、来園された方々が園内でより快適に過ごしていただけるよう、休憩施設等の充実を図っていきます。



<解決したい課題>

- 芝生広場に芝がない・・・。
- 日陰のある休憩場所が足りない・・・。
- トイレや授乳室をより快適にしたい・・・。
- 身体的なハンデがある方にもゆっくり楽しんでもらいたい・・・。



Project 1

芝生広場の再生

園中央に位置し、家族連れなどの休憩やお弁当を楽しむ場として利用されています。より快適に過ごしていただくための整地と人工芝舗装を行います。



Project 2

パラソル付ベンチの増設



パラソルで日陰を確保し、休憩や食事に利用してもらえるようにします。



Project 3

園内トイレ等の整備



トイレの洋式化や温水洗浄便座への交換の外、授乳室などの設備の充実を行い、快適な衛生、子育て支援環境を提供します。



Project 4 電動アシスト付車いすの更新等

園内は高低差があるため、電動アシスト付車いすの需要がありますが、車いすの老朽化や台数不足が問題となっており、それを解消して、利用者が園内を楽々と散策できるよう支援します。



以前は



1991年の芝生広場の様子。レジャーシートを敷いてお弁当を食べたり、寝転がって休憩する姿がみられました。

現在は



地盤の土の流失や芝の育成不良で、ゴツゴツした地面がむき出しに・・・。

2. 日本平動物園とは？

日本平動物園は、景勝地日本平の麓にある動物園で1969年(昭和44年)8月1日に開園しました。市内外から年間約50万人が訪れ、笑顔と賑わい溢れる市内有数の観光施設で、令和6年に55周年を迎えます。

平成19～24年度に実施した再整備で新設した猛獣館299やフライングメガドームなどでは、様々な角度から動物たちを観察できたり、生息域に近い環境の再現により動物たちの本能を最大限に引き出す「行動展示」が特徴となっています。

また、「**レッサーパンダの聖地 静岡市**」として、絶滅の危機に瀕するレッサーパンダをはじめとする希少種の保全に向けた取り組みにも力を入れています。

動物園は来て、見て、楽しい思い出を作る場だけではなく、今そこに存在する**リアルな動物たちとの出会い**を通じて、生物多様性の重要性や野生動物たちの生息域の環境など、命の尊さや環境問題などへの“気づき”も得られるところが当園の強みです。



レッサーパンダ (ニコ)



円筒水槽をゆっくりと上がるゴマファザラシ

メッセージ

日本平動物園は「**いのちを感じ、次世代へつなぐ動物園**」を基本理念に掲げており、動物たちの美しさ、鼓動、息づかい、においなど、リアルでしか体感 出来ない驚きや感動と、記憶に残るワクワク空間を提供していきます。

しかし、開園から50年以上を経て獣舎施設の老朽化に伴う修繕を中長期的に実施していく必要があり、休憩施設等への整備にまで手が回っていないのが 実情です。

来園者の皆さんが、家族などとの楽しい思い出の場として、より快適に過ごしていただける**”おもてなし環境”の向上を実現** できるよう、皆様の温かい御支援をよろしくお願いたします。

